

令和8年度 浜松市立光が丘中学校

# 第1回 学校運営協議会



< 3月 卒業式より >



< 4月 入学式より >

令和8年5月11日（月） 13：30～

光が丘中学校 会議室

【 次第 】

- (1) 開会の言葉 13:30 ~ 13:31
- (2) 授業参観（教科等は下部参照） 13:31 ~ 13:51
- (3) 会長挨拶 13:51 ~ 13:54
- (4) 校長挨拶 13:54 ~ 13:57
- (5) 委員任命書交付 13:57 ~ 13:58
- (6) 自己紹介 13:58 ~ 14:00
- (7) 浜松市学校運営協議会規則確認 14:00 ~ 14:05
- ・ 第3条第1項（目的）
  - ・ 第5条第1項（協議会の役割）
  - ・ 第6条（対象学校の運営に関する基本的な方針の承認）
  - ・ 第12条第1項・第2項（委員の守秘義務）
  - ・ 第14条第2項（会議の運営）
- (8) 開催要件の確認及び議長選出 14:05 ~ 14:06
- (9) 前回会議録確認 14:06 ~ 14:08
- (10) 熟議事項 14:08 ~ 14:55
- ①令和8年度学校運営の基本方針について  
（グランドデザイン、業務量管理・健康確保措置に関すること等）
  - ②いじめ防止基本方針について
  - ③今年度の目標及び夢育やらまいか事業に対する意見書について
- (11) 連絡事項 14:55 ~ 14:58

- ・ 今後の学校運営協議会開催予定

	月日(曜)	時間	場所	備考
第2回	9月11日(金)	13:30~15:00	会議室	参観あり
第3回	12月8日(火)	13:30~15:00	会議室	参観あり
第4回	2月1日(月)	13:30~15:00	会議室	参観あり

- ・ 教育総務課より

- (12) 閉会の言葉 14:58 ~ 15:00

【 授業参観 】

学級	1A	1B	2A	2B	3A	3B	E組	F組
教科等	技術(自習)	美術	社会	英語	国語	数学	理科	生活単元
授業者	(香惟)	孝之	大輔	荒木	涼恵	大庭	矢部・深澤	謙真・克行
場 所	1A	美術室	2A	2B	3A	3B	理科室	F組

【 令和8年度 学校運営協議会 委員名簿 】

氏名	役職	備考
溝口 玄	竜川ふれあいセンター活動推進委員会委員長	会長
松井 章泰	光が丘中学校区青少年健全育成会会長	副会長
鈴木 公寿	浜松市立光が丘中学校同窓会長	
笹竹 和行	光明ふれあいセンター活動推進委員会委員長	学校支援コーディネーター
正久 達	青少年育成指導員	
森下 智子	天竜東地区主任児童委員・民生委員	
實森 浜代	天竜東地区主任児童委員・民生委員	
坂井 久司	龍山地区児童委員・民生委員	
植田 渉	浜松市立光が丘中学校PTA会長	新任

【 学校 】

氏名	役職	備考
村松 還	浜松市立光が丘中学校 校長	
瀬戸 一志	浜松市立光が丘中学校 教頭	
石田 真	浜松市立光が丘中学校 教務主任	C S担当職員
堀部 純子	浜松市立光が丘中学校 校務アシスタント	C Sディレクター

【 学年構成並びに学校運営組織 】

学年構成			1年	2年	3年
	学年主任		佐藤 文彦(体)	大庭 篤(数)	内山 克行(社)
	学級担任	A組	内山 大輔(社)	新村 香惟(国)	内山 涼恵(国)
		B組	矢部 柚奈(理)	深澤 凜(体)	荒木 信哉(英)
		E組	鈴木 孝之		
F組	伊藤 謙真				
学年付		笹川 陽平(数)		藤原康幸(音・技)	

学年外職員及び主任・主事等	校長	村松 還	教頭	瀬戸 一志	教務主任	石田 真
	養護教諭	大木島亜唯翔	事務主任	杉山 裕美	ALT	トリクシー・クストージョ
	生徒指導主事	荒木 信哉	進路指導主事	内山 涼恵	研修主任	新村 香惟
	非常勤講師(理)	櫻井 謙治	非常勤講師(体)	伊藤 拓真	非常勤講師(美)	新村 文祥
	非常勤講師(家)	磯部 唯	非常勤講師(英)	中村 利之	発達支援教室	松野 遥可
	校内まなびの教室	松島 光宏	図書館補助員	田中 順子	校務アシスタント	堀部 純子
	スクールカウンセラー	杉浦麻里絵	スクールソーシャルワーカー	後藤幸一郎	部活動指導員(吹奏楽)	白井 宏司
	シブバ-用務員	唐沢 重春 ・ 加藤 悦子 ・ 西村 英子 ・ 小出 住子				

< メモ >

## 令和7年度 第4回 光が丘中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年1月29日（木） 午後1時30分から午後3時20分まで
- 2 開催場所 浜松市立光が丘中学校 会議室
- 3 出席委員 溝口 玄、笹竹 和行、松井 章泰、森下 智子、實森 浜代、坂井 久司  
鈴木 公寿、正久 達、高塚 朋宣
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 村松 還（校長）、瀬戸 一志（教頭）、石田 真（CS担当職員）  
堀部 純子（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 堀部 純子
- 8 議長の選出

第1回学校運営協議会において、副会長が継続して務めることが承認されたため、前回と同様に松井委員が議長を務めることとなった。

### 9 熟議事項

#### （1）学校関係者評価

- ・教育活動・教育課程全般について
- ・生徒指導について

#### （2）次年度の学校運営の基本方針について

#### （3）学校運営協議会の自己評価について

### 10 会議記録

司会の教頭から、委員総数9人のうち全員の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

#### （1）学校関係者評価

議長の指示により、石田より学校関係者評価について、生徒・保護者に対するアンケート結果を用いて説明があり、委員からは以下の発言があった。

●学校の教育目標に向けてどう動くか、生徒たちをどうやって育てていくのかを考えていくのがよい。アンケート結果に合わせて、あとからのつじつまあわせはよくないが、今回の結果は筋が通っていてすばらしいと思う。（正久委員）

●全力でうちこめるものがあるかという質問に対して、ほぼ8割の生徒が、あてはまる/ややあてはまると回答しているのが好印象である。中学の3年間で貴重だということに気づくきっかけは、先生や家庭の役割だと実感している。この先それぞれのステージで、自分が何をやらなければいけないかを考えて、頑張っていってほしいと思う。（高塚委員）

●目標に向かって指導していくのが基本だが、型にはめすぎるのも疑問に思う。目標と違ったことが起きた時の対応がなされているかが重要ではないか。アンケートの結果は、全体的にいい流れだと思う。(坂井委員)

●昨年に引き続き、自ら進んで物事に取り組む意識が薄いという問題が、今年も出てくるのではないかと。(松井委員)

→光が丘中だけでなく全般的にその傾向があるが、3年生は解決力を発揮していたと思う。今後の生活の中で、さらにその力が出てくるのではないかとと思っている。(石田)

議長の指示により、教頭より生徒指導について、認知件数を含めたいじめへの対応と、不登校生徒の実態と対応を中心に、概要が伝えられたあと、下記のような説明があった。

・大人数の中で、社会性を身につけることには価値があるが、そこに身を置くのが難しい生徒も多くなっている。多様な生徒に対して多様な居場所(まなびの教室など)を提供し、取り組んでいく。

委員からは、以下の発言があった。

●光が丘中の生徒たちは、優しく、素直で、挨拶もよくできている。いじめに関しては、大人に何ができるのか、難しいところがある。(實森委員)

●集団行動がとれない生徒に対しては、まなびの教室等が支援する仕組みになっていくと思う。不登校は子どもだけの問題ではなく、親が送り出せないケースもある。(森下委員)  
→家庭への支援は、児童相談所や警察のサポートセンター等関係各所との力を借りて行うのが望ましい。スクールソーシャルワーカーが入ったことで、校外の教室に通えるようになったケースもある。外部とのつながりが必要である。(校長)

協議の結果、「学校関係者評価について」は、承認不要とした。

## (2) 次年度の学校運営の基本方針について

議長の指示により、校長より次年度の学校運営の基本方針について、資料(7頁・令和8年度浜松市立光が丘中学校ランドデザイン)を用いて説明があり、委員からは以下の発言があった。

●学校経営目標の「よいと思うこと」は、「自分が」よいと思うことなのか。それとも「みんなが」がよいと思うことなのか。(溝口会長)

→「自分」を含む「誰もが」よいと思うことです。(校長)

→それならば、「みんなが」を入れた方がよいのではないかと。これだけ見ると、自分勝手な印象を与えたり、「自分はもうすでに実行しているのに」という反感を持たれかねないと思う。(溝口会長)

●「できる人」には生徒だけではなく、いろいろな人を含んでいるのがよい。

本田宗一郎の言葉はこの地元に根ざしたよい言葉だと思う。(鈴木委員)

●《地域に開かれた学校づくり》の項目から「学校だより・学校ホームページでの情報発信に努める」が消えているのはなぜか。(笹竹委員)

→生徒自身の希望や、個人情報保護の観点から、ブログ等に写真を載せることが難しくなった。月1回の学校だよりや保健だより等で対応していきたい。(校長)

●この地域は昔から、幼・小・中のつながりが深い。連携を大切にしていってほしい。(松井委員)

協議の結果、「次年度の学校運営の基本方針について」は、新年度の第1回協議会において承認することとした。

### (3) 学校運営協議会の自己評価について

議長の指示により、教頭より学校運営協議会の自己評価について、資料(8~12頁)を用いて説明があり、委員からは以下の発言があった。

●評価項目4はこの形でいいと思う。(坂井委員)

●評価項目3の情報発信について、CSだよりの回覧を見ていない人がいるのではないかと。文字だけだと印象に残りづらいので、もっと目を引く工夫があるとよい。(鈴木委員)

●運営協議会の会議録がホームページに掲載されているが、そこまで見てくれる人がいるか疑問である。広報活動のよい案があればだしていただきたい。(松井委員)

協議の結果、「学校運営協議会の自己評価について」は、承認不要とした。

### 【その他報告事項等】

●司会の教頭から、夢育やらまいか事業のCS加算分について、次年度も引き続き、ダンス指導講師への謝礼等に活用するとして、夢をはぐくむ学校づくり推進協議会あてに、夢育やらまいか事業に対する意見書を提出する旨の説明があった。

●司会の教頭から、今後の予定として、以下の行事があるとの説明があった。

- ・令和8年2月25日(水) 学校運営協議会委員研修会
- ・令和8年3月18日(水) 令和7年度卒業証書授与式
- ・令和8年4月9日(木) 令和8年度入学式

●司会の教頭から、協議会委員の任期は3年であるが、都合により役を降りる方がいたらお知らせ頂きたい旨と、保護者代表としてPTA会長の高塚委員は、PTA会長の交代に伴い、委員も交代するため、今回が最後となる旨の説明があった。

●司会の教頭から、令和8年度の学校運営協議会開催予定日の説明があった。

# 令和8年度 浜松市立光が丘中学校 学校経営方針

R8.4.1

## 【校訓】

### 【校区の目指す子供像】

試す人 信頼される人 夢ある人

### 【学校教育目標】

未来を拓く生徒の育成

### 【学校経営目標】

よいと思うことが自然にできる人の育成



## 《校訓、学校教育目標、学校経営目標のつながりとねがい》

よいことは、場面や状況、そこに居合わせた人によって変化していくものである。  
ならば、みんなで納得した最適解である、よいと思うことに、粘り強く取り組み、その結果や過程を振り返ることによって、よりよいと思うことを見いだしていくことが求められる。  
また、みんなでよいと思うことを見いだしていく上で、物事をより多面的・多角的に見つめるためには、多様なよさを持ち合わせた人が集まり、その仲間のよさを紡いでいくことも大切なこととなる。  
そのために、一人一人が、ありのままの自分で、あこがれる生き方を問い続けることによって、そのあこがれが行動として自然にあらわされるような人に近づいていこうとする態度や姿勢が重要になってくる。  
このような資質・能力を、子供とその子供たちにかかわるすべての人が、共に育んでいき、未来を拓くことのできる、夢を持ち、いろいろなことを試しながら、信頼される人になりたい。

## 《令和8年度の重点》

知	確かな学力	教科観を磨き、教科を学ぶ意義を明確にした、「深い学びに誘う授業づくり」を進める、学びのプロを目指す。
徳	豊かな感性	「心の輪 共につなごう あいさつで」 生徒同士、職員、家庭、地域が、心通わせることを目指す。
体	たくましい心身	学校行事を中心に、何事にも精いっぱいやり切り、その過程を振り返ることによって、自己有用感や自己肯定感を高める。

## 《学校経営の基盤》

安全・安心への意識と地域に支えられているという自覚

- 安全・安心な教育環境の整備  
登下校時の交通事故防止と大雨等の災害時における安全を確保する。
- 地域に開かれた学校づくり  
校区内の小学校・園、社会教育施設、福祉施設などと連携し、地域の人材や学習資源を生かした教育を推進する。

校訓と第4次浜松市教育総合計画との関係性

試す人		信頼される人	夢ある人
みんなでよいことを考え、粘り強く取り組む人		一人一人のよさを認め、よりよいかかわりがもてる人	あこがれる生き方を問い続け、自分のよさを生かそうとする人
主体性	多様性・包摂性	信頼・協働	基本理念

【浜松市のめざす教師像】

- 子供の自分らしさを受け止める教職員
- 愛情と情熱、規範意識を持ち続ける教職員
- 専門性と指導力を磨き続ける教職員

# 令和8年度 浜松市立光が丘中学校 グランドデザイン

校訓・校区で目指す子供像

試す人 信頼される人 夢ある人



学校教育目標

未来を拓く生徒

学校経営目標

よいと思うことが自然にできる人の育成

## 確かな学力

令和8年度の重点

- ◎研修テーマ「深い学びに誘う授業づくり」
- ・生徒が自ら考え、判断し、他者と共同して課題に取り組む授業
- ・「深い学び」に焦点を当てた授業改善
- ◎基礎基本の定着
- ◎ICTを活用した授業



## 豊かな感性

令和8年度の重点

- ◎あいさつ運動の充実
- ・あいさつで「心の輪」をつなぎ、心を通わせる
- ◎思いやりの心の育成（人権の尊重、多様な生き方・考え方への理解）
- ◎道徳授業の工夫・充実
- ◎自己肯定感を高める支援
- ◎体験活動の充実



## たくましい心身

令和8年度の重点

- ◎学校行事の充実
- ・新たな工夫を加え活気と潤いあふれる行事に
- ◎自分らしさを大切にする生き方指導
- ◎教育相談の充実
- ◎健康意識の増進
- ◎地域行事への参加



### 《安全・安心な教育環境整備》

- ・安全・安心のため、校内の物的環境の整備を図る。
- ・体罰や不適切な言動、いじめや差別のない、人間尊重に基づく人的環境を整える。
- ・大雨等の災害時の対応周知など安全確保のための情報を確実に共有・発信する。

### 《地域に開かれた学校づくり》

- ・PTA 活動、校区内の小学校・園、社会教育施設、福祉施設との連携・協働を通して地域の人材や学習資源を生かした教育を推進する。
- ・コミュニティ・スクール(学校運営協議会)、青少年健全育成会と連携する。

(様式1)

学校番号 (小・**中**)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(光が丘中) 学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- ・「教育課程内の無理のない範囲で、地域の良さを活かした活動」を行えるよう、協議を重ねていく。
- ・現在学校が抱える「不登校対応」・「部活動の地域移行」といった課題への対応について、重点として力を入れていく。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ **ア** よくできた **イ** できた **ウ** あまりできなかった **エ** できなかった  
(理由)

学校運営の基本方針と第4次教育総合計画と照らし合わせ、今を生きる子供たちに必要な資質・能力等について、授業参観や学校行事等での生徒の様子も踏まえ、校長からの説明をもとに、熟議ができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ **ア** よくできた **イ** できた **ウ** あまりできなかった **エ** できなかった  
(理由)

学校運営の基本方針と学校支援活動とのつながりを意識した熟議ができた。学校支援コーディネーターの尽力により、地域の方による家庭科調理実習の補助や、保健体育科ダンスの指導等が定着し、成果を挙げている。ただし、本校の課題の一つである不登校対応については、時間が十分ではなく、熟議を尽くせなかった面がある。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ **ア** 充分に行った **イ** 行った **ウ** あまり行わなかった **エ** 行わなかった  
(理由)

地域回覧板でのCS便りや、学校ホームページでの情報発信を行っている。また、各委員は、自治会、民児協の定例会などで、学校・家庭・地域が共に、子どもたちを育てていく方向での協力の呼びかけを行い、生徒の日常や学校行事の様子なども、その都度伝えるようにしている。

＜評価項目4＞ 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

- ・特色ある学校づくりに向けて、「教育課程内の無理のない範囲で、地域の良さを活かした活動」を引き続き実施できるよう協議し、支援していく。
- ・休日の部活動の地域展開をはじめとした、新たな様々な課題について、天竜区という地域の特性も考慮し、充実した教育活動の実践を支援していく。

(様式1)

令和7年5月15日

浜松市立光が丘中学校  
夢をはぐくむ学校づくり推進協議会  
代表 老川 薫 様

浜松市立光が丘中学校運営協議会  
会長 溝口 玄

### 夢育やらまいか事業に対する意見書

令和7年5月13日に開催した学校運営協議会において、下記の意見を議決しましたので報告します。

#### 記

#### 1 学校運営の基本方針を具現化するための意見

※こちらは案です。

- ・ 地域の方々の持つノウハウやスキルの活用と、教員の負担軽減を目指し、実技教科における生徒の学習活動において、地域人材による指導や補助が行える態勢を整えるべきである。具体的には、家庭科での調理や、保健体育科でのダンスの支援等が行えると良いと考える。